

## 内蔵 DAT160 ユニット (PY-DT202, PYBDT202)

### (1) 概要

DAT(Digital Audio Tape)の技術をベースに、情報機器のバックアップ装置として決められた第6世代のDDS(Digital Data Storage)テクノロジーに対応した内蔵型 DAT ユニットの USB インターフェースモデルです。

### (2) 特長

- ・ DAT160 データカートリッジをご使用の場合は、データテープ 1 巻当たり非圧縮データ 80GB (圧縮率 2 倍のデータのときは約 160GB) のバックアップが可能です。
- ・ DAT72 データカートリッジをご使用の場合は、最大 6.9 MB/s(非圧縮時)のデータ転送が可能です。
- ・ DDS-4、DAT72、DAT160 の各フォーマットのデータカートリッジへの読み書きが可能です。



外観

### (3) 仕様

#### 1) 仕様一覧

項目	仕様	備考
製品名称	内蔵 DAT160 ユニット	
型名	PY-DT202, PYBDT202	
インターフェース	USB 2.0	
データ記録方式	回転ヘッド、ヘリカルスキャン記録方式	
データ記憶容量(*1)	非圧縮時80GB /巻 圧縮時約160GB /巻(圧縮率2倍のとき) (DAT72 データカートリッジ使用時)	
データ転送速度(*2)	最大6.9MB/s(非圧縮時) (DAT160データカートリッジ使用時)	
データ記録形式	DDS-4 (Read/Write) DAT72 (Read/Write) DAT160 (Read/Write) (DDS-3, DDS-2, DDS-1 カートリッジはご使用できません)	
エラーレート	訂正不能エラーは1×10 の17 乗bit のリードに1回以下	
外形寸法[mm]	幅 101.6 × 高さ41.3 × 奥行き 176.6 3.5インチ内蔵オプションベイを1 スロット使用	ベゼル、コネクタ部を含む(突起は除く)
質量	0.85kg	
消費電力	最大 30 W	
発熱量	最大 108 kJ/h	
添付品	・クリーニングカートリッジ DAT160 ・USB ケーブル [一式] (*3) ・保証書 (*4)	・特に個数の記載のないものは数量1

	・富士通バックアップデバイスの関連情報/Relevant Information for Fujitsu Backup Devices ・PRIMERGY 製品の取り扱いについて (*5)	・データカートリッジは別手配。
適用機種	便覧またはシステム構成図参照	
適用 OS / ソフトウェア	バックアップ(装置・OS・ソフトウェア)適用一覧を参照	
推奨クリーニング周期	1 週間毎(1 週間に 25 時間以上バックアップする場合は 25 時間使用毎)	
クリーニングカートリッジ寿命	50 回	

(\*1) テープ装置における容量表現は、1GB = 1000×1000×1000 byte で換算しています。

(\*2) 転送速度は、1MB/秒= 1000 × 1000 Byte/秒で換算しています。

(\*3) カスタムメイドサービスの場合、サーバ本体に組み込まれています。

(\*4) カスタムメイド型名の場合、サーバ本体の保証書に含まれます。

(\*5) 標準型名の場合のみ添付されています。

## 2) 規格の取得状況

安全規格	IEC 60950-1, EN 60950-1
電気用品安全法	対象外
RoHS 指令	対応済み
J-MOSS (日本版 RoHS)	対象外
グリーン購入法	対象外

## (4) 留意事項

以下に本装置の運用、取扱いに関する留意事項を記載します。

詳細は本装置の取扱説明書およびバックアップソフトウェア等、関連製品の説明書を参照してください。また、別章(システム構築上の留意事項)の「バックアップガイド」の留意事項も参照してください。

### ➤ デバイスドライバのインストールについて

・Windows で本装置をご使用になる場合  
デバイスドライバのインストールが必要です。

・Linux で本装置をご使用になる場合

LINUX ベースのオペレーションシステムをご使用の場合は、ドライバインストールは必要ありません。

### ➤ バックアップ性能とバックアップ容量

以下の要因により、バックアップ性能および 1 巻あたりに記録できるバックアップ容量が減少することがあるため注意してください。

- ・サーバの負荷状況(データ転送速度が十分に得られない場合)
- ・データの圧縮率
- ・ご使用されるデータカセットの記録面の状態(消耗、汚れなど)
- ・本製品のヘッドの汚れ状態

### ➤ USB デバイスの扱い

Windows などでは USB デバイスは取り外し可能な装置として扱われますが、本装置を運用中に「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行うと、再度認識させるためにはサーバのリブートが必要になります。

OS 動作中は本装置の取り外し操作を行わないでください。

➤ OS / バックアップソフトについて

- ・Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2 で、本装置をご使用になる場合は、別途専用のバックアップソフトウェアが必要になります。  
尚、本装置をサポートするバックアップソフトウェアについては、別章(システム構築上の留意事項)の「バックアップガイド」をご確認ください。
- ・Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 でご使用になる場合は、弊社 HP の「Windows Server 2012 の動作確認情報」、「Windows Server 2012 R2 の動作確認情報」をご確認ください。また、バックアップソフトのサポート状況につきましては別章(システム構築上の留意事項)の「バックアップガイド」をご確認ください。

➤ 運用構築時の注意

- ・設置環境について  
本製品にセットされた磁気テープ媒体は、データ記録面が装置内部で露出するため、設置環境(特に塵埃)の影響を受けやすい傾向があります。  
一般的に、床面に近いほど塵埃濃度は高くなるので、机上など床面より離れた場所への設置をお願い致します。
- ・定期的なクリーニングについて  
本装置は、使用・未使用に関わらず、浮遊塵埃などの影響により磁気ヘッドが汚れるため、定期的なクリーニングが必要です。
  - － 定期的に使用する場合  
1 週間毎(1 週間に 25 時間以上バックアップする場合は、25 時間使用毎)
  - － 定期的に使用しない場合  
1 ヶ月毎または 25 時間使用毎定期的なクリーニングを忘れない為、一般的には「毎週月曜の朝」などクリーニングを実施する曜日を決めて運用するなどをお勧めします。
- ・バックアップ後のデータカートリッジの排出について
  - － データカートリッジを本製品内に入れたままにしないでください。
  - － データカートリッジを入れたまま、電源を切らないでください。本製品内ではデータカートリッジの磁気記録面が露出しているため、この状態が長く続くと浮遊塵埃の影響を受けやすくなります。バックアップ運用の直前にデータカートリッジを入れ、バックアップ運用が終了したらすぐにデータカートリッジを取り出してください。
- ・データカートリッジ複数巻によるバックアップ運用について  
同一データカートリッジ1巻によるバックアップ運用では、バックアップに失敗した場合、全データが失われる危険があります。また、バックアップしたデータカセットの磁気テープが傷付いた場合などにデータが復元できなくなります。複数のデータカートリッジによるバックアップ運用を行うことにより、トラブル発生時の被害を最小限にできます。  
例) 曜日ごとのデータカートリッジを準備しバックアップ運用する。

**(5) サプライ品**

本製品には、次の富士通純正品を使用されることをお勧めします。

品名	商品番号	出荷単位	仕様	
			記録容量(*)	記録フォーマット
データカートリッジ DAT160	0121220	1 巻	80GB	DAT160
データカセット DAT CT36G	0121210	1 巻	36GB	DAT72
データカセット DAT CT20G	0121190	1 巻	20GB	DDS-4
クリーニングカートリッジ DAT160	0121240	1 巻	最大 50 回使用可能	

(\*) 注: 記録容量はデータ圧縮機能を使わない場合の値。

問い合わせ窓口:

富士通コワーコ株式会社 <http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>  
 富士通コワーコお客様総合センター 0120-505-279  
 月～金 9:00～17:30(祝日・年末年始除く)

**(6) 接続条件**

- サーバ内蔵ベイ接続  
 サーバの内部の USB ポートとの一対一接続のサポート。  
 サーバ1台に対して、本装置は1台のみ接続可です。(複数台の接続は未サポート)

サーバ	対応型名	接続ケーブル
TX120 S3 RX300 S7 (注 1) RX300 S8 (注 1)	PY-DT202	別手配不要(本製品に添付)
	PYBDT202	別手配不要(サーバ本体に組み込まれています)

注 1) ラックベースユニット(2.5 インチ)に、ベイ追加オプション(PYBBA2803B/PYBBA28S1B)適用時のみ搭載可能。

- PRIMERGY SX10 S2(バックアップキャビネット)接続  
 本装置は、SX10 S2 に搭載できません。
- PRIMERGY SX05 S1 (USB) (バックアップキャビネット)接続  
 本装置は、SX05 S1 に搭載できません。